

学部連携病棟実習

チーム医療の実践的な学習としては、学部合同の学生グループによる医療現場での参加型学習が最も望ましい。本学では医学部、薬学部の5年生は全員が附属病院で長期実習を実施している。そこで、この実習期間を利用して、平成23年度から、医・歯・薬学部5年生、保健医療学部3・4年生の学部合同チームによる1週間の学部連携病棟実習を附属7病院で必修で実施した。

【平成21年・22年度トライアル】

平成21年度に1回（平成22年3月、2病院2病棟14人）、23年度には3回（7月、10月、12月、計6病院22病棟106人）、学部合同学生グループによる大規模トライアルを実施し、実習のスケジュール、指導体制、評価方法などを確認した。円滑な実習の実施のために、トライアルに先立ち、当該病棟の医師、看護師、薬剤師、病院歯科診療室歯科医師、リハビリ技師と指導担当教員が参加したワークショップを開催し、1週間の実習スケジュールの作成を行った。

トライアルの結果に基づき、平成23年度からの必修化の準備を行った。附属7病院42病棟で実施するため、トライアル未実施の病棟のスタッフを対象に、平成23年5月28日にワークショップを開催し、全病棟での1週間の実習スケジュール作成を行った。

【平成23年度（必修化）実習概要】

1. 学習目標

本実習の一般目標を「多くの医療職種が連携・協調し、情報共有と討議により患者の求める医療を提案、実施することが望ましい医療であることを理解するために、病棟で複数の学部学生が連携して患者を担当し、チーム医療の実践に必要な知識、技能、態度を修得する。」とし、具体的な10の到達目標を設定した。

2. 実施時期及び実施病棟

平成23年6月20～24日、10月17～21日、11月14～18日のⅠ～Ⅲ期に分け（一部のグループは前後の週）、附属7病院42病棟（大学病院16病棟、大学病院附属東病院2病棟、藤が丘病院14病棟、横浜市北部病院7病棟、藤が丘リハビリテーション病院・豊洲病院・烏山病院各1病棟）で実施した。

3. 参加学生と学生グループ

医・歯・薬学部5年生、保健医療学部看護学科・作業療法学科4年生、理学療法学科3年生の約600人を複数学部の学生からなる132グループに分け、Ⅰ～Ⅲ期のいずれかの1週間で実習を行った。医学部、薬学部は本来の学部実習の実施病棟で実施することを原則とし、それ以外の学生は、この期間だけ参加した。

4. 実習内容とスケジュール

学部合同の学生グループが、病棟で1週間、同じ患者を担当した。実習は図1に示すように病棟ごとに事前に作成した詳細なスケジュールに従って実施し、学生は連携・協力し、密接な情報共有と討議を行い、担当患者の課題を探求し、課題の解決に必要な最善の治療やケアについて検討を行った。

また、他職種の業務を理解するため、他学部の学生や医療スタッフの担当患者に対する診療（歯科診療を含む）、面談、検査、治療（手術を含む）、ケア、リハビリテーションを積極的に見学し、薬剤部見学も行った。

チームでの情報共有の場である医療スタッフのミーティング・カンファランス、回診、申し送りなどにも積極的に参加した。

学生チームは、ミーティング用に指定された学生ミーティングルームやカンファランスルーム・会議室などに朝夕集合し、スケジュールの確認や一日の報告を行い、担当患者の情報を共有するためのミーティングを行った。金曜日午後には、実習内容（患者症例の説明と経過、プランの報告など）をまとめ、グループ発表を行った。

5. 指導及び評価

実習期間中は4学部から病棟ごとに派遣された指導担当教員が全体の監督指導と評価を行い、多職種の病棟スタッフとともに協力しながら学生の支援を行った。指導担当教員は、原則として月曜午前（病棟スタッフへの紹介、スケジュール確認）および水曜夕方、金曜夕方（学生ミーティングとまとめのサポート）など、3回程度、指導を行った。

6. 評価

評価はポートフォリオ（学生の自己評価）と評価表（指導教員）を用いた。

【結果】

42病棟での大規模な実習となったが、事前の詳細なスケジュール作成と、指導者の理解と積極的な支援により、殆どの病棟で円滑な実習が実施された。

学生グループ内のコミュニケーション、連携・協力は概ね良好で、医学部生は診断や外科治療、薬学生は薬物治療、歯学部生は口腔ケア、看護学生は患者心理・介護・QOL、理学・作業療法学生はリハビリテーションやADLの視点から、担当患者の多くの情報を収集・検討し、それぞれの学部実習では気付くことのない幅広い視点から討議を行い、入院中から退院後までにわたる多彩な治療やケアを提案した。また、他学部の学生の実習や業務を見学することで、相互の職能に対する理解が深まり、アンケート結果から、多くの学生が「患者の問題を把握し、解決するためには、チーム医療が重要であることがわかった」という感想を持ったことがわかった。

表1 学部連携病棟実習の1週間のスケジュール例（腎臓内科病棟）

	医	薬	看護
月	8:30 集合 ミーティングルームで打ち合わせ		
	9:00~9:15オリエンテーション	申し送り 病棟スタッフ挨拶	
	9:15~10:00 クルズス	9:15~10:00 ウォーキングカンファレンス	
	10:00~11:00 クルズス(黒木先生)		
	患者挨拶 IC (横地先生)・短時間の面談		看護記録等の情報収集
	カルテ情報収集・面談	12:00~昼食	カルテ情報収集・患者面談
	看護記録等の情報収集	透析見学	
火	16:00 ミーティングルームで情報共有と討議		
	8:30 ミーティングルームで打ち合わせ		
	ウォーキングカンファレンス	看護バイタル測定	看護バイタル測定
	9:30~12:00 教授回診(担当患者の透析開始を観察)・機会があればCCU/ICU		
	14:00~クルズス(本田先生)		
	15:30~ 担当患者 口腔内診察(歯科室)		
	16:15 ミーティングルームで情報共有と討議		
水	8:30 ミーティングルームで打ち合わせ		
	看護バイタル測定	ウォーキングカンファレンス	看護バイタル測定
	10~11 腎生検(病棟)		
	患者面談・診察	11~12 CAPD外来	患者面談・診察
	12:00~14:00 昼食・服薬指導	食事観察・昼食	食事観察・昼食
	14:00 NST見学 患者2~3人		
	15:00~ 口腔観察(患者) ケアのためのプランニング 時間があれば服薬指導(他の患者)		
木	16:00 ミーティングルームで情報共有と討議		
	9:00 ミーティングルームで打ち合わせ		
	CAPD外来(嚥下回診の見学)	嚥下回診	CAPD外来(嚥下回診の見学)
	11:00~ 口腔ケア(患者)		
	11:00~ 嚥下回診 看護バイタル測定		
	11:00~ 嚥下回診 看護バイタル測定		
	15:30 ミーティングルームで情報共有と討議		
金	16:00 ミーティングルームで打ち合わせ		
	生活指導・服薬指導	口腔ケア指導の準備	生活指導・服薬指導
	13:00 小テスト		
	14:00 総括		
	退院後を視野に入れて、食事指導、口腔ケア指導、シャント管理		
	14:00~発表準備		
	15:00~16:00 発表準備		
16:00 ミーティングルームで症例発表			